



NATURE HEALTH

Nature Healthは、2026年1月創刊の新しいオンラインジャーナルで、医学・社会科学・環境科学の分野における健康に関する査読付きの研究を、独創性、速報性、健康政策へのインパクトを基準に掲載します。本誌は、2024年改訂のヘルシンキ宣言が求める通り、研究参加者およびコミュニティとの意義ある関わりを重視します。また、低・中所得国や高所得国における社会的に不利な立場にある人々など、資源に制約のある環境で行われた研究を優先的に取り上げます。ReviewやPerspectiveなどの委託コンテンツも掲載し、掲載の可否は専任の編集者が判断します。

対象とする主な分野

本誌は、資源に制約のある環境で行われた研究を重視し、公衆衛生、グローバルヘルス、集団の健康に関するあらゆる研究を対象としています。

対象としている主な分野（これらに限定されるわけではありません）：

- 感染症（顧みられない熱帯病を含む）
- 非感染性疾患（NCDs）
- デジタルヘルス
- 環境保健
- ヘルスケアにおける人工知能（AI）
- 医療政策
- 疾病疫学
- 医療経済学
- ゲノム医療
- 医療サービス研究
- 栄養学

オンライン出版

Nature Healthはオンライン限定ジャーナルであり、先行オンライン公開（Advanced Online Publication）を採用しています。これにより、特定の号に掲載される前に、最終版の論文にいち早くアクセスすることが可能です。

編集部

Nature Healthは他の全てのNature関連誌と同様、専門の編集者からなる専任チーム、公正で厳格な査読プロセス、高いレベルの編集と制作、迅速な出版、編集の独立性を特徴としています。



■ ウェブサイト：
nature.com/naturehealth



ISSN: 3005-0693 (online)
2026年1月創刊

Nature Healthは、公衆衛生、グローバルヘルス、集団健康のあらゆる研究における、以下のような研究タイプを対象としています:

- 質的研究
- 混合研究法
- 観察研究
- モデリング研究
- バイオマーカー研究
- リアルワールドエビデンス
- プラグマティック臨床試験
- メタアナリシス

対象読者 (あるいはその関連分野)

学术界

- 公衆衛生、医療経済学、グローバルヘルス、環境と健康、社会科学、医学
- 感染症、デジタルヘルス、医療における人工知能、ゲノム医療、疫学、栄養学、非感染性疾患
- 低・中所得国やグローバル・サウスなど、資源の限られた環境で研究を行っている研究者
- 医療経済学を含む社会科学や、気候変動や森林火災が健康に与える影響など、健康に応用される環境科学
- 実用的臨床試験 (プラグマティック・トライアル) や、現実世界での医療介入の研究

産業界

- 第4相試験や実用的臨床試験を実施しているバイオテクノロジー企業や製薬企業
- デジタルヘルス企業やAIやオミクス技術などを用いた新しい診断法を開発している企業
- 医療分野で活動する非政府組織 (NGO) やシンクタンク

チーフエディター: Ben Johnson, PhD

Benは感染症の分野の研究を行い、英国ウォーリック大学でウイルス学の学士号を取得後、イングランド公衆衛生局およびレディング大学でインフルエンザウイルスに関する博士号を取得しました。その後、インペリアルカレッジ・ロンドンでポスドク研究員として天然痘ワクチンに関する研究を行いました。

出版、ジャーナリズム、コミュニケーション、エンゲージメントの分野で15年以上の経験を有し、これまでにBMCのアソシエイト・パブリッシャー、Springer Natureのコミュニティー&エンゲージメント部門責任者、**Nature Medicine**のシニア・マガジン・エディター (NewsおよびOpinionの責任者) などを歴任しています。

Benは、資源に制約のある環境 (グローバル・サウスを含む) で行われる研究、研究が医療政策に与えるインパクト、そして患者や地域社会を公平に研究に巻き込むための戦略に強い関心を持っており、現在はロンドンオフィスを拠点としています。



[nature.com/naturehealth/editors](https://www.nature.com/naturehealth/editors)

お見積り・お問い合わせ

シュプリングーネイチャー リサーチマーケティング

E jpmarket@springernature.com